

* この取扱説明書はご使用前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

* この取扱説明書はいつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

* この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

バイク用スマートフォンケース

商品 NO.

18866/18868

■ ご使用前に必ず内容をご確認ください ■

この商品の使用をもって本書記載の内容全てを理解・承諾したものとみなします。ご使用前に必ずご確認ください。

■ 禁止 ■

* 運転者が走行中にスマートフォンやカーナビなどの画面を注視したり、電話機能を使用したりすることは法令で禁止されており大変危険です。また、前方不注意による重大な事故の原因ともなります。法令を遵守し安全運転を心掛けてください。

* 外径(Φ22 ~ 29)以外のバー、異形バーへのクランプ取り付けはできません。

* 内外を問わず、透明窓部に痕が残るような過度な力を加えないでください。透明窓部の変形・傷つきの原因となります。

* ケース内部が濡れた状態で放置しないでください。生地の劣化や素材剥離、カビ発生などの原因となります。

* 本品（構成部品含む）ならびに関連組み付け部品が、車体部位など他に接触するような取り付けは不可です。

* 本品の素材を侵す溶剤・ケミカル類の使用は不可です。

■ 防水性などの免責事項 ■

* 本品のケース本体に防水性はありません。製品構造上、透明窓部の縫製部やファスナー部などからケース内部に浸水しますので、収納物の水濡れ対策は使用者本人が行なってください。

* 本品には、収納物を外力や雨水、熱、振動などから保護する機能はありません。収納物の傷つき・防水・防塵・防熱・防振など十分にご注意ください。

■ その他 ■

* 本品を装着したことによる物的損害や人的損害などの保証は、一切お受けできません。また商品保証は、本商品のみ対象となります。

* 本品を取り付けた場合、車両側の取り付け面や、その周辺にキズが付く可能性があります。

* 素材と製造方法、製品個体差などにより、仕上がり品質はお手元の商品程度となります。透明窓部のたわみや縫製部の仕上がり、樹脂部品のウェルドラインなど、程度の差につきましてはご了承ください。

* 本品の透明窓部は、指紋認証や一部iPhoneの感圧センサーに反応しません。

* 透明窓部を介してのタッチパネル操作は、所定の静電容量が得られる条件下でないと正しく反応しません。機種画面保護ケースやグローブ（タッチパネル対応・非対応問わず）使用時などは条件がさらに厳しくなり、透明窓部と機種画面を十分密着させたとしても、透明窓部を介さない状態と比べ操作性が悪くなる（または反応しない）場合があります。ご了承ください。

* ハンドルクランプ部品にロックした後のケースは、工具を使わず向きを360°回転調整<左右>できますが、製品構造上若干のバックラッシュ（ガタ）が生じます。ご了承ください。

* 本品は予告なく仕様や価格を変更する場合があります。

■ 実施 ■

* 商品開梱時や取り付け・取り扱い時に、パッケージや商品の端面・パリなどで予期せぬ怪我や事故が発生する場合があります。十分ご注意ください。

* 商品開梱の際は、構成部品の不具合・外観の異常がないことを必ずご確認ください。万一お気付きの点がございましたら、ご使用前にお買い求めの販売店に速やかにご相談ください。

* ハンドルクランプ部からのケース着脱はワンタッチで行なえる構造となっておりますが、所定の操作が正しく行なわれないと着脱が困難となる場合があります。車体装着後の商品固定角度やスペースの有無などによっては条件がさらに厳しくなる場合があり、無理な操作は予期せぬ怪我や部品破損の原因となります。所定のケース着脱操作に十分慣れたうえでご使用を開始してください。

* ケースに収納する機種の実機サイズは使用者により異なります。所定の寸法範囲内であっても、機種の形状や仕様、ご使用になる保護ケースなどによっては収納できない場合があります。お客様の実機にて事前にご確認ください。

* 電源ボタン、カメラ、スピーカー、イヤホンジャックなどの設置位置は機種により異り、機能に支障ができる状態での収納となる場合があります。

* ケースに収納する機種の固定はお客様ご自身で工夫していただく必要があります。付属の穴付きインナーパッドや位置調整スプリング等を有効に活用し実機にとって最適な収納状態を確保したうえでご使用ください。

* 商品可動部の調整、部品の組み付け、車体への取り付け、機種の装着（収納/固定）・収納物の保護対策や盗難防止対策などは全て使用者本人のリスクにおいて行なってください。

* 舗装・未舗装路を問わず、路面の段差を乗り越える際に発生する衝撃の度合いによっては、図らずモロックが外れる場合があります。走行振動対策や商品（構成部品含む）・収納物の落下防止対策などは全て使用者本人のリスクにおいて行なうべき落下防止対策などは事前にご確認の上ご使用ください。

* 付属のストラップは、ケース本体の向き調整が完了した後で背面アタッチメントに組み付けてください。

* 取り付け後約100km走行しましたら調整可動部や固定部などを点検し、ボルト類の増し締めを行なってください。その後は約500km毎に定期点検・増し締めを行なってください。これら作業を怠ると予期せぬ不具合や事故損害が発生する場合があります。

* この商品の構成部品は金属や樹脂を素材としております。ご使用保管環境や経年変化や使用損耗により素材劣化（変色やサビなど含む）が進行し、部品破損など予期せぬ不具合や事故損害が発生する場合があります。走行使用前に商品状態を毎回必ず点検し（調整可動部や固定部、雨水がたまりやすい箇所などは特に念入りに）、異常があれば適宜新品交換（部品または商品）してください。

* 走行使用時に商品（構成部品含む）・収納物に何らかの異常が発生した場合は直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。また、異常が取り除けるまではご使用を一旦お止めください。

本商品の特長

- 簡易防滴仕様のバイク用スマートフォンケース。クランプの機構を改良し、回転させやすく、脱着し易くなりました。
- ハンドルクランプ部品は箕浦製（カラビナホール付き首振りタイプ）を採用。リジッドとクイックの2タイプ設定。
- 取り付け可能なハンドル外径=Φ22~29。
- ファスナーはYKK製ファスナーを採用
- ハンドルクランプ部品にロックした後のケースは、工具を使わずに360°回転調整、クランプからの着脱もワンタッチ。

*ケースに収納する機種の固定はお客様ご自身で工夫していただく必要があります。付属の穴付きインナーパッド等を有効に活用し、実機にとって最適な収納状態を確保したうえでご使用ください。

商品ラインナップ

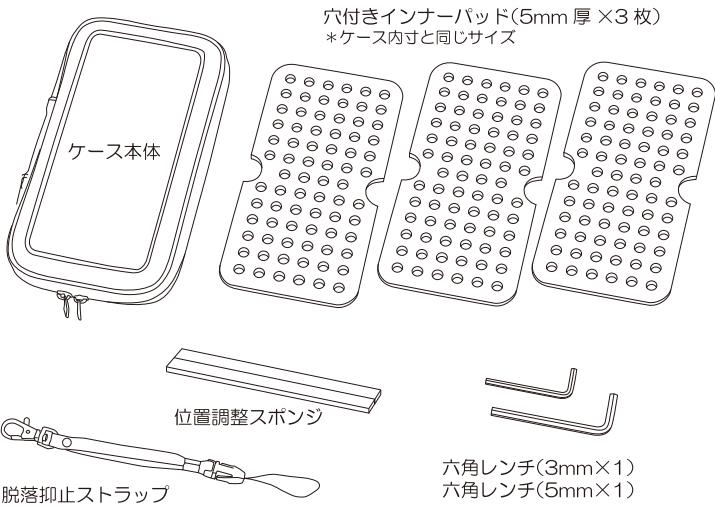
付属するハンドルクランプの種別の違いで、2品目ラインナップ。

●バイク用スマートフォンケース

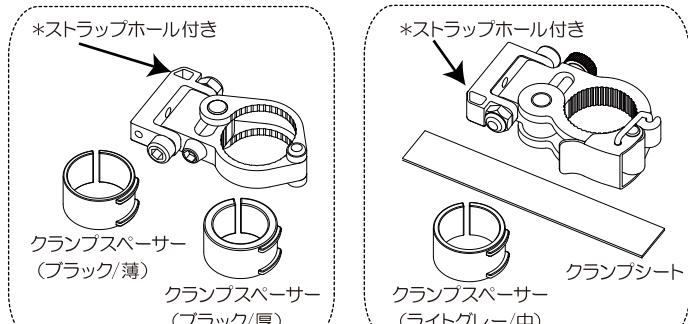
内寸：高さ168mm、幅89mm、20mm

商品名	品番
リジッドクランプ式	18866
クイッククランプ式	18868

商品構成

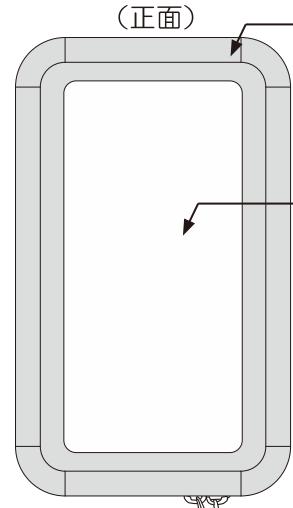


ハンドルクランプは2タイプ設定



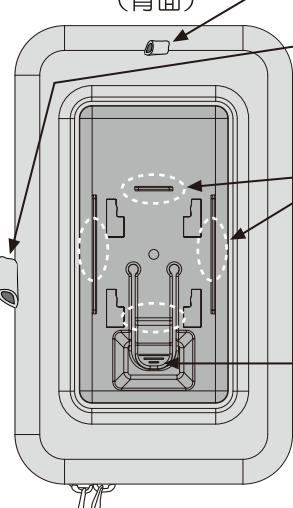
リジッドクランプ式
<ボルト留めでしっかり固定!>

各部名称説明



<ケース本体>

生地にエンボス加工を施し、落ち付きのあるデザインに仕上げました。
(簡易防滴仕様)
*防水性はありません。



<サービスホール>

カラビナの金具側を取り付ける際に使用します。

<タッチペンホルダー>

市販のタッチペンを固定することができます。

<ストッパー>

上下左右4箇所(点線部)に設け、
ケース背面アタッチメントにスライドし組み合わせたロックパーツ
(クランプ先端部品)をしっかりと保持。

<レバー>

ケース本体の着脱時に操作

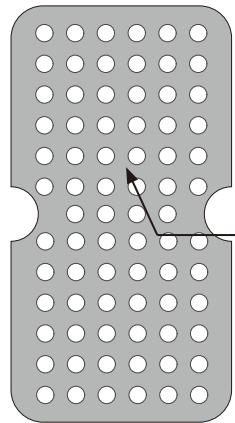
*<ケース取り付け時>

ケース背面アタッチメントの凹穴にロックパーツの凸ツメをはめ込み、レバーを強く押しながらストッパーを十分沈み込ませます。そのまま奥までスライドさせてロックします。

*<ケース取り外し時>

片方の手でケース本体を、もう片方の手でクランプ部をしっかりと支えます。指でレバーを強く押し、ストッパーを十分沈み込ませながらロック時とは逆方向にスライドさせてケースを取り外します。

(穴付きインナーパッド)



<穴付きインナーパッド>

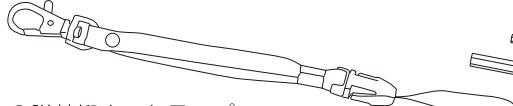
各ケース付属のインナーパッド(5mm厚×3枚)を穴付きにし、熱の逃げ場を設けました。

*スマートフォンの熱暴走は完全には防止できません。

●六角レンチ(3mm×1)

●六角レンチ(5mm×1)

*クランプ部の首振り調整固定時に使用

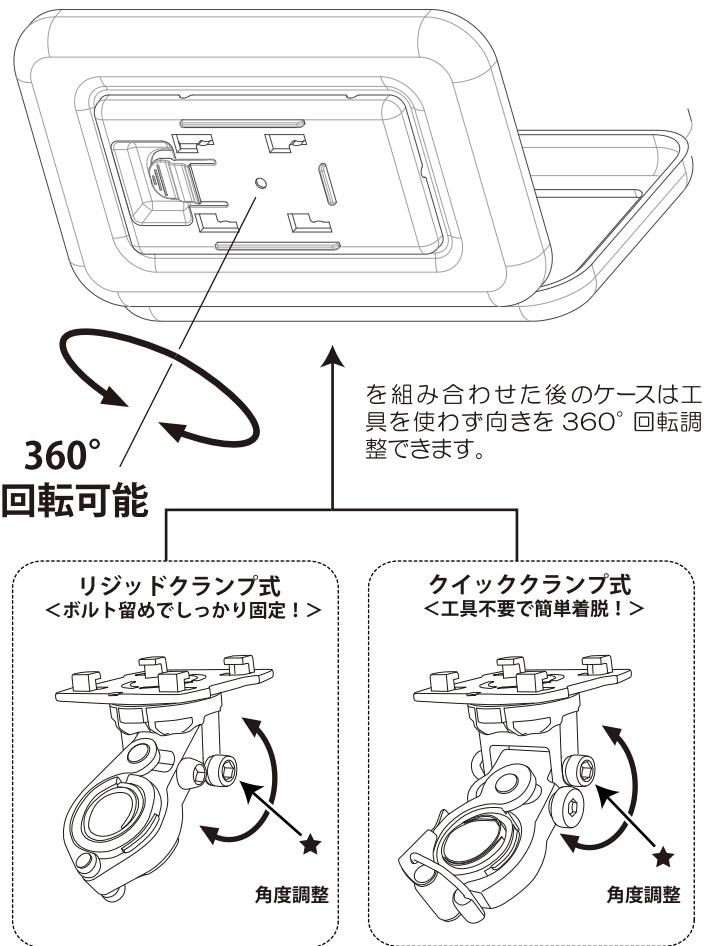


●脱落抑止ストラップ

*紐付き樹脂側：首振りクランプに組み付け

*金具側：ケース本体の向き調整後、背面に組み付け

組み付け概要

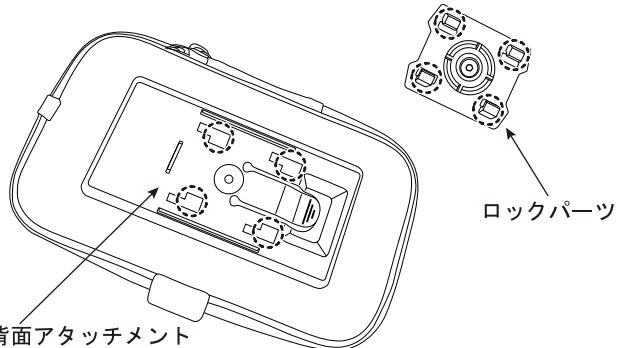


ケース本体の着脱

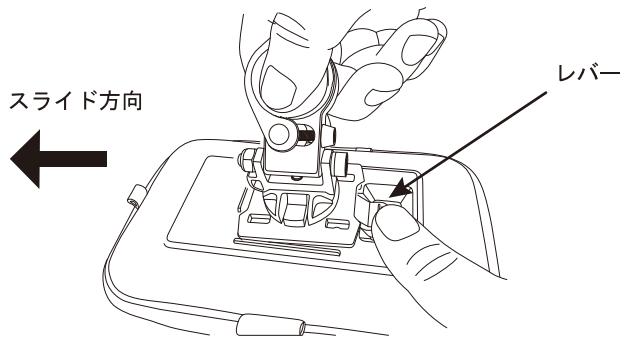
ハンドルクランプ部からのケース着脱はワンタッチで行える構造となっておりますが、所定の操作が正しく行われないと着脱が困難となる場合があります。所定のケース着脱操作に十分慣れたうえでご使用を開始してください。

<ケースをクランプに取り付ける>

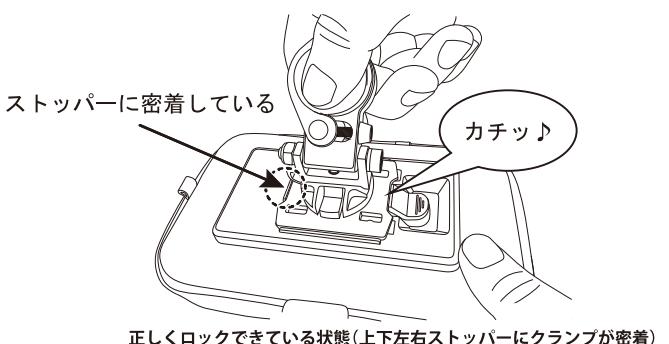
ケース背面アタッチメントの凹穴に<4箇所>、ロックパーツ(クランプ先端部品)の凸ツメをはめ込みます。<4箇所>



ケース背面のレバーを強く押しながら、十分に沈み込ませてください。ロックパーツの凸ツメをアタッチメントの凹穴に合わせてスライドさせて組み合せます。



「カチッ」と音を立ててロックし、ストッパーにクランプが密着していれば正しい状態です。



<ケースをクランプから取り外す>

片方の手でケース本体を持ち、もう片方の手でクランプ部を支えます。レバーを十分沈み込ませながら、ロック時とは逆方向にスライドさせてケースを取り外します。

*レバーを十分沈み込せることができれば、ロック時よりも容易にケースを取り外すことが出来ます。

各クランプの首振り角度調整

付属の5mm六角レンチと10mmスパナ<別途用意>を使用して、クランプの首振り部根元に設けられた六角穴付きステンレスボルト(★印)とロックナットを緩めることで、ハンドルクランプの首振り角度を調整できます。調整後はボルト&ナットを必ず本締め固定してください。

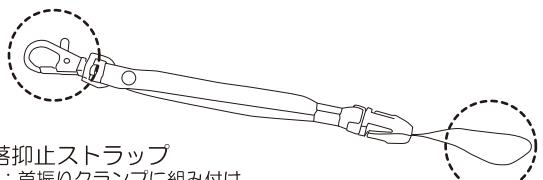
! ロックナットは緩み防止機構付です。角度調整をする際、手締めでは調節できません。上記工具をご使用ください。また、斜めにボルトが入っているなど、正常にボルトが挿入されていない場合でも気付きにくいのでご注意ください。

ストラップ装着の重要性

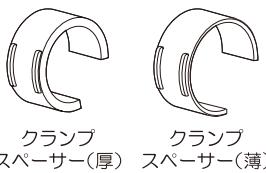
! 付属のストラップを正しく装着使用することで、走行中の不意なケース脱落を抑止します。首振りクランプに設けられたカラビナホールに紐側を組み付け、ケース側面に設けられたサービスホールに金具側を組み付けます。ケースとクランプが確実に連結された状態でご使用ください。

*金具側は、首振りクランプのカラビナホールには単独組み付けできません。市販のカラビナやリング<別途用意>を介してください。

! ストラップの使用状態は走行使用前に毎回必ず確認し、異常がある場合は速やかに使用をやめてください。ケースとクランプが確実に連結されていない状態での使用は厳禁です。

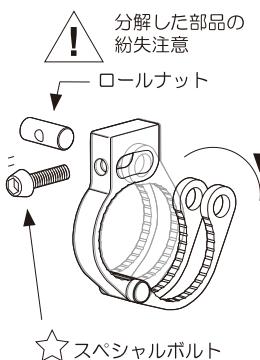


リジットクランプの組み付け



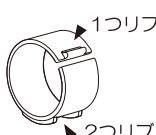
ハンドル外径に合わせて以下の部品を選択します。ハンドル側には20mmの組み付けスペースが必要です。

- φ22:スペーサー(厚)
- φ25:スペーサー(薄)
- φ29:スペーサーなし



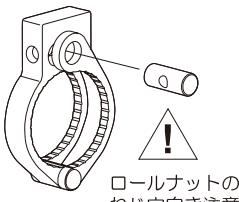
付属の5mm六角レンチを使用してクランプを一旦分解し、左右アームを十分開いておきます。

- *分解した部品の紛失には十分注意してください。
- *開いたアームは曲がりやすいので十分注意してください。アームが変形すると、以降の手順でロールナットを再挿入出来なくなる恐れがあります。



ハンドルにスペーサーをあてがい、その上にクランプを被せ、分解した部品を元通り仮組みします。ケース本体の組み付け方向はこの段階で予め想定しておいてください。

- *スペーサー使用時は、スペーサーの組み付け向きに注意してください。1つリブが左右アームのヒンジ側に、2つリブが1本アーム側に確実に掛かる位置で正しく組み付けてください。
- *ロールナットはクランプ本体と左右アームを貫通するよう組み付けます。ボルトの斜めねじ込みを防止するため、ロールナットのねじ穴はクランプのボルト挿入口に正しく向けてください。



スペシャルボルトをクランプのロールナットに組み付けます。まずは手締めで軽く3回転ほどねじ込み、ボルトがまっすぐ無理なくねじ込めることを十分確認した後、最終的に5mm六角レンチを使用してしっかりと締め、固定します。

- *最初から六角レンチを使用してボルトを締め込まないでください。ボルトが斜めにねじ込まれると、ロールナットのねじ穴が破損します。
- *ボルトの締め過ぎは厳禁。部品破損の原因となります。
- *ボルトの締め付けトルクは5.4N.mです。

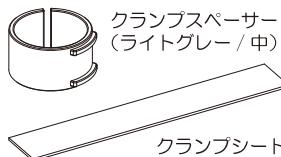


ボルトがまっすぐ挿入固定され、クランプ全体が動かず固定されれば正しい状態です。

ボルトのねじ込みが斜めになる、ボルトの頭とクランプの間に隙間が生じる、クランプ全体が動いてしまう場合は問題があります。クランプを再度分解し、仮組みから手順をやり直してください。

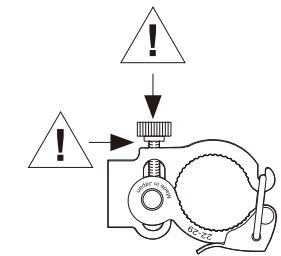
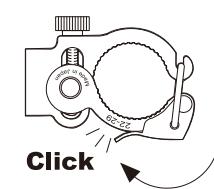
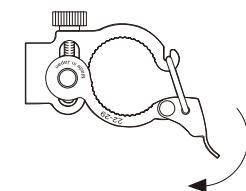
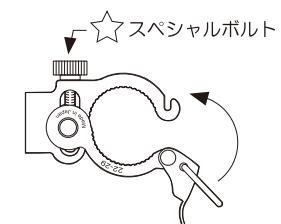
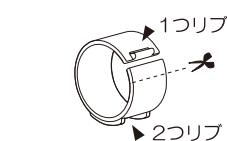
*組み付け後、スペシャルボルト周辺を十分脱脂してください。油分があるとクランプの締め付けが緩む原因となります。

クイッククランプの組み付け



ハンドル外径に合わせて以下の部品を選択します。ハンドル側には幅30mm以上の組み付けスペースが必要です。

- φ22～25.4: クランプスペーサー
- φ25.4超～29: クランプシート



ハンドル外径に合わせて以下の部品を選択します。ハンドル側には幅30mm以上の組み付けスペースが必要です。

- φ22～25.4: クランプスペーサー
- φ25.4超～29: クランプシート

*φ22.2以下のハンドルにスペーサーを使用する場合は、スペーサー内径よりもハンドル外径が細いため、スペーサー樹脂が余ります。

*スペーサー樹脂が余った状態での組み付けはオススメできませんので、スペーサーのリブがない箇所を図のように10mmほどカットし、ハンドルにあてがった際、スペーサーの端と端に隙間が若干生じる状態にして組み付けてください。

ハンドルにスペーサーをあてがい、レバーを十分に起こしたクランプをその上に置きます。スペシャルボルトの頭をクランプ側に十分押し付けた状態で、アーム先端に設けられたリングをフックに掛けます。

*クランプ開き幅は予め仮調整しておきます。

*スペーサー使用時は、スペーサーの組み付け向きに注意してください。1つリブが2本アームの開口部に、2つリブが1本アーム側に確実に掛かる位置で正しく組み付けてください。

*リングをフックにかける際は、必ずスペシャルボルトの頭をクランプ側に十分押し込んでください。スペシャルボルトの頭とクランプの間に隙間がある状態で作業すると、リング曲がりや外れなど、予期せぬ部品破損の原因となります。

倒し込むレバーがちょうど中間地点にきた時にぐっと重くなるように、スペシャルボルトの頭を指で回し、抵抗感を最適に調整してください。

*ボルトの締め過ぎは部品破損の原因となります。

レバーを最後まで倒した際に、適度な抵抗感で「パチン」と音を立てて閉じ、クランプ全体が動かず固定されていれば正しい状態です。

「パチン」と音がしない、ボルトの頭とクランプの間に隙間が生じる、クランプ全体が動いてしまう、抵抗が強くて閉じられない場合は問題があります。一旦レバーを起こし、スペシャルボルトの頭を指で回し、レバーを倒した際の抵抗を再調整してください。

*クランプを開じてからスペシャルボルトを増し締めするのは厳禁です。閉じたクランプの締め付けがかえって緩む原因となります。

*組み付け後、スペシャルボルト周辺を十分脱脂してください。油分があるとクランプの締め付けが緩む原因となります。

保証書

1.保証期間: 保証修理の期間は、お買い上げいただいた日から1年間とします。

2.お客様にお守りいただく事項: 当社商品は安全快適にご使用いただくために、お客様の正しい使用と点検、整備が必要です。次のことを必ずお守りください。(1)車両本体メーカー発行の保守、整備を実施すること。(2)運行前点検および保守、整備を実施すること。(3)定期交換部品、及び油脂類を指定どおり交換すること。(4)車両、工具、機器等の不具合。(5)法令に違反する改造および当社が認めていない改造。(適合車種以外の取付等)(6)通常の注意で発見処置できたにもかかわらず、放置したことにより拡大した不具合。(7)前記2お客様にお守りいただく事項を守らなかつたことに起因する不具合。

(2)次に示す費用は負担いたしません。^①発生した不具合によって破損した本品以外の部品代金、修理工賃、整備等の費用。(2)商品を検査のためお預かりする際に発生する整備工賃等。(3)お車を使用できなかつた事による不便さおよび損失代。(電話代、レンタカーレート、運送代、機会損失等)^④この保証書に示す以外の費用、保証等。

4.保証修理の受け方: 保証修理をお受けになる場合は、当社商品とのご保証書をお買い上げの販売店にお持ち頂き、当社へ修理依頼をして頂きますようお願いいたします。本書を提示されない場合、又はご連絡をいたしていない場合は、保証修理をいたしかねます。

5.保証の発行: この保証書はお買い上げの販売店様が本書の販売店記入欄に必要事項を記入、捺印することにより有効となります。

◎この保証書は、本書に明示した期間と条件のもとに無償修理または交換をお約束するものです。したがって保証期間経過後に発生した不具合の修理は原則として有償です。ただし、保証期間経過後の不具合が使用消耗あるいは経年変化によるものではなく、その全部または一部が当社の責任に起因する場合は、その責任の度合に応じた適正範囲で修理いたします。

- この度は当社商品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本商品は当社の厳密な検査を経て出荷されておりますが、万が一通常のご使用において、材料または製品上の不具合に起因する故障などが起きた場合、これを無償修理または交換させていただきます。(以下これを保証修理と言います)
- 保証修理を依頼される場合は、「お客様記入欄」のすべての項目を必ず記入していただきからお買い上げいただいた販売店へ本書および商品をご持参いただくか、ティペーに直接連絡ください。その時、使用状況などを記入した別の用紙(形式は問いません)を添えていただくようお願い致します。

◎お買い上げいただいた際に販売店の方に「販売店記入欄」に必要事項の記入をいただくか、またはご購入履歴を証明できるものを必ず添付してください。提示いただけない場合は保証修理いたしかねます。

お客様記入欄 ご購入日: 年 月 日 | 商品名:

商品番号: 使用車種: (年式) 車両番号:

フリガナ
お名前: TEL: - - -

ご住所:〒 - - - 販売店記入欄 売替日: 年 月 日

店印を捺印ください。
またはご購入履歴を証明できるものを
本書と一緒に添付ください。

株式会社 デイトナ

〒437-0226
静岡県周智郡森町一室4805
<https://www.daytona.co.jp>

転載禁止 本取扱説明書の内容の一部、または全ての無断転載を禁止

◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955まで